

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：健康長寿課
担当名：母子保健担当
内線：3426 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S83	乳児マス・スクリーニング検査事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	母子衛生費	乳児マス・スクリーニング検査費		
事業期間	昭和52年度～	根拠法令	先天性代謝異常等検査実施要綱			針路分野施策	04 子育てに希望が持てる社会の実現 0402 子育て支援の充実	SDGsゴール 3 SDGsターゲット	3 3-2, 3-3, 3-4	
1 事業概要 先天性の代謝異常等の病気は、発見が遅れて治療がなされないと、心身の発育・発達の遅れなどの症状を起こすことがある。新生児に対する採血検査を実施することにより、先天性の病気を早期に発見し、症状の発生を予防するための適切な治療につなげる。国の実証事業に参加し、重症複合免疫不全症（SCID）及び脊髄性筋萎縮症（SMA）の2疾患を対象とするマススクリーニング検査を県対象医療機関等で出生した新生児を対象に実施する。 ア 乳児マス・スクリーニング検査事業費 △612千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 乳児マス・スクリーニング検査事業費 △612千円 新生児に対する先天性代謝異常等に係る検査の実施(既存20疾患) 年41,374件(再検査含む) 新生児に対する先天性代謝異常等に係る検査の実施(追加2疾患) 年26,562件(再検査含む) (2) 事業計画 ア 乳児マス・スクリーニング検査事業費 県内で出生する全ての新生児に対し検査を実施(既存20疾患・さいたま市実施分除く) 対象児 約39,000人 県内で出生する全ての新生児に対し検査を実施(追加2疾患・さいたま市実施分除く) 対象児 約25,000人 (3) 事業効果 先天性疾患の早期の確定診断と早期治療により、疾患の重症化・障害の発症を予防でき、養育や経済的負担が軽減され、安心してこどもを生み育てられる環境となる。 検査による発見患者数(既存20疾患) 令和 2年度 35人 令和 3年度 26人 令和 4年度 22人 検査による発見患者数(追加2疾患) 令和 6年度 3人(見込) (4) 補正予算の概要 事務費縮減による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 (区分) 衛生費 (細目) 母子保健費 (細節) 母子保健費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人＝4,750千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
		国庫支出金								
決定額	△612							△612	255,622	
現計額	256,234	70,692						185,542		

事業内訳書

事業名	乳児マス・スクリーニング検査事業費		
単位事業名	乳児マス・スクリーニング検査事業費	予算額	△ 612千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△612	—	
合計	△612	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△1	—	事務費縮減による減
需用費	△577	—	事務費縮減による減
役務費	△34	—	事務費縮減による減
合計	△612	—	